

令和8年度

NO.4

2026/7/17

松戸市立第一中学校

ぶんこう

みらい分校だより



学校HP



1学期終了 有意義な夏休みを

今年も暑さが厳しくなるように感じます。学校は明日から長い夏休みです。先日、この1学期を振り返る個人面談を行いました。生徒の話からは、各自が新しい学年に胸を躍らせ、授業や学校行事に精一杯取り組んだことがうかがえました。始業前には、友達とカードゲームをしたり、日本語で談笑したり、毎日明るい雰囲気で一日をスタートしていました。また困っている新入生に優しく教える先輩が多くいました。学校の中に温かい雰囲気が築かれていることを感じました。今年も猛暑の予報です。健康に注意して過ごしてください。

スポレク大会 地域との交流

16日、学期末の恒例行事である「スポーツレク大会」がおこなわれました。夕暮れ時、大勢の地域の皆さんに参加していただき、グランドゴルフを楽しみました。「ナイス!」「おいしい!」「すごい!」と、体育館のあちこちから歓声が上がり、大いに盛り上がりました。今年も松戸市スポーツ推進員の皆さんに準備と片付けなど、大変お世話になりました。みらい分校は3多くの地域の方々に支えられています。



みんなで語る会 お互いを理解する

「みんなで語る会」も学期末の大事な行事です。仲間がお互いを理解し合うために、自分の考えをグループのメンバーに話をしていきます。話すテーマは、「入学した理由」「仲間と自分について」「みらい分校のいいところ」「みらい分校をよくするためにできること」などです。国籍、年代や事情など様々な生徒が集まっていますが、一人ひとり、周りの人に感謝しながら、頑張ってみらい分校に通い、たくさんの経験を通して、成長しているのだとわかりました。友達の話に真剣に耳を傾けている生徒たちの姿が印象的でした。様々な価値観に触れることのできる環境は、本校の大きなアピールポイントです。

【生徒の原稿(抜粋)】

私は日本に来てからみらい分校に入学して1年が経ちました。今まで自分の日本語能力や社会の経験などどちらも少しずつ上手になりました。(中略)次にアルバイトをします。セブンイレブンでレジをしたり、揚げ物を揚げたりします。そして掃除をします。働くことで一番難しいことは、聞くことです。理由はいろいろなお客さんがいますから、言葉と声量が違うからです。バイトが終わったら、すぐみらい分校に走ってきます。学校で、私は、先生みんなに「今日バイトどうでしたか。」と聞かれてとても嬉しいです。3月までもっとお客さんとおしゃべりできるようにします。勉強した日本語の単語をおしゃべりの中で、いっぱい使います。これからも頑張ります。

